

## 「耐久性と省エネ性を軸としたこれからの住宅提案研修」が 開催されました！

11/25 ㈱コシイプレザービング主催で「省エネ住宅の伝道師」と呼ばれている 早田宏徳氏による上記講習会が鹿児島市内で開催されました。

早田氏は中学卒業後少年自衛隊学校へ進学、その後家業の左官業見習いをしている時、その営業センスを見出され、大手住宅会社の営業へ引き抜かれた。そこで、13 年間に 3300 棟の住宅を引き渡した。その間にドイツの家づくりに興味を持ち、退社してドイツへ行き、住宅の省エネの必要性を実感。ドイツの省エネ規格を学び、日本での普及に努めている。平成 11 年の東日本大震災以降、東京電力の電気代は 30%以上、九州電力でも 10%以上 UP している。又、円安や自然エネルギー一定価格買取制度等によりエネルギーコストは確実に上昇する。年 3%UP と試算すると 30~40 年後にはエネルギー費は 3~5 倍(年 100 万円以上)になるだろう。住宅での省エネルギー化にコストをかけても十分取り戻すことはできる。初期投資するか、ランニングコストでエネルギーコストを賄うか検討する価値はある。日本では車の燃費性能を表示するが、住宅ではまだ認知度が低い。ドイツでは賃貸住宅の燃費性能も表示する様になっている。借手は間取りや家賃だけでなく、燃費性能も選択肢にしている。欧米では 100 年以上の建物も多いが、長く使う事で、燃費性能の良い住宅を安く借りられる。(初期投資の償却が終わった後は補修費のみ)

現在、日本において、新築は 2011 年省エネ基準をほとんどクリアしているが既存住宅は 5%程度である。2020 年には省エネルギー基準適合が義務化される見込みです。今後は 100 年住宅をめざし、長持ちのする家づくりが主流となるだろう。その為には断熱壁の構造を長持ちさせることが重要であり、㈱コシイプレザービングが進めている、ハウスガードシステムは今後求められるだろうし、自分の会社でも採用したい。といった内容でした。早田氏が提案する「低燃費住宅」は 80 万円/坪であるが、ライフサイクルコストを説明した事で、四国で会社を立ち上げて 2 年間で 100 棟を超す受注に成功しているそうです。

### 【情 報】

#### 「第 138 回省エネ住宅の達人」動画

今回の内容について、テレビ放映されたものが下記で見られます。

省エネルギー・エネルギーパス等についても説明されています。

早田社長も最後に少し出演されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=ggb7G0vqfAM>

#### ハウスガードシステムについて

当社で現在取り組んでいます。1 F 桁下をすべて注入材とすることで最長 20 年の防腐防蟻の保険が付きます。

### 【定休日】

12 月は 7, 13, 14, 21, 28, 29, 30, 31 日となります

1 月は 1, 2, 3, 4, 11, 18, 24, 25, 31 日となります

宜しくお願いします。



太陽光発電